



いわいずみ



P2 特集 異常気象への備え

P6 子どもを中心に教育環境を充実

P8 決算審査ここをチェック

効果的な有害獣対策を

P12 町の考えを問う

(6 議員が一般質問)

シリーズ キラッと光る人 8

障がい者の地域生活支援を行うNPO法人クチェカで事務局長を務める鈴木悠太さん(小川・39歳)。放課後児童クラブも運営していて「子どもたちとの遊び・学びの時間は楽しいですよ」と笑顔で語ってくれました。

2023年には岩泉町防災士連絡協議会の会長に就任。多方面で活躍しています。

異常気象への備え 台風10号災害からの防災対策



全国各地からのご支援に改めて感謝申し上げます
(平成28年台風10号災害支援感謝の日)

本町に大きな被害をもたらした平成28年台風第10号災害から8年。災害復旧工事などは一部を除き終了しています。
あの大雨と全国各地からの支援を忘れない日とするため、町は8月30日に「平成28年台風10号災害支援感謝の日」を開催しました。

近年、台風や集中豪雨など異常気象による自然災害が全国各地で発生し、尊い命や財産などが失われています。本町でも、昨年8月の大雨、本年8月の台風第5号と2年連続で被害が発生。

本号では、今後の異常気象に備えるため、台風10号災害後に整備された人材や情報などソフト面を検証し防災対策を考えます。

正しく理解し、適切な判断を 水防警報などの基準水位

水防警報とは、法律に基づき河川管理者が洪水時の河川水位の状態により発表する警報のことです。状況に応じて発表されます。基準を正しく理解し、適切な判断を行うことが重要です。



防災士の養成

台風10号災害により地域自主防災組織の重要性を再認識。定例的に連絡会議を開催し連携を強化。防災意識の統一を図っています。
訓練や研修会なども継続的に実施。一人一人の防災意識を高めながら各地区の自主防が相互に協力し合い組織力を強化しています。



自主防災組織の強化

防災士は「自助」「共助」「協働」を原則として、社会のさまざまな場で防災力を高める活動をするため、十分な意識と一定の知識・技能を修得した人です。
町では台風10号災害後、防災士養成の取り組みを推進。令和元年には町防災士連絡協議会を設立しました。町連絡協議会の防災士登録者数は、本年7月末現在204人です。



“協定”の締結

防災対策や災害発生時の決まりとなる「協定」を締結する取り組みも進みました。
社会福祉施設の近隣事業者の職員が、災害時に要配慮者の避難行動などを支援。
ヤフー(株)との協定では、防災速報を活用した防災情報(自治体からの緊急情報)を配信。専用アプリで避難所の開設情報や災害への注意喚起情報を受け取ることができます。

台風10号災害の際、各地域では自主避難所が多数開設されました。実態を踏まえ町の指定避難所を増やし、備蓄品を整備しました。地域自らで避難運営をできるように進めています。

指定避難所を増



岩泉町 防災マップ

Yahoo! 防災速報からの情報配信

二級河川小本川と安家川における水防警報などを行う基準水位

危険度レベル	河川の水位	基準水位 (m)		町民に求められる行動
		小本川	安家川	
5	氾濫発生			住民の避難完了 避難の判断 避難開始 高齢者等避難の目安 雨量・気象情報などへ注意
4	氾濫危険水位	3.80	3.50	
3	避難判断水位	3.30	3.00	
2	氾濫注意水位	3.10	2.90	
1	水防待機水位	2.50	1.80	
通常の水位				

↑ 増水

家畜し尿運搬用コンテナ3台を購入

金額 904万円
契約の相手方 極東開発工業株式会社(大阪市)



古くなり使用できなくなったコンテナ

人権擁護委員の候補者3人を「適任」と答申

人権擁護委員の2人が任期満了に、1人が欠員となっていました。新たに3人の委員候補者を推薦したいとして意見を求められたものです。いずれも「適任」と答申しました。

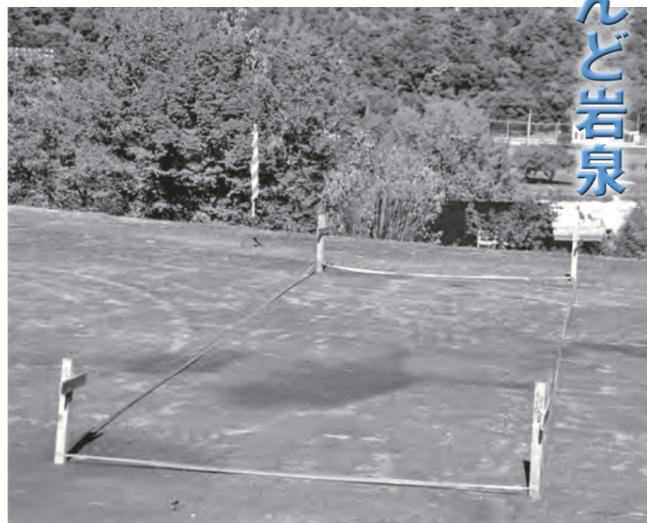
- 武田美枝子さん (岩泉・65歳)
- 菊地 涼子さん (小川・62歳)
- 森子 栄一さん (安家・68歳)

ふれあいランド岩泉
再整備工事の契約額を変更

ふれあいランド岩泉は、来春の開業を目指し再整備工事に着手しています。国の交付金を活用した事業ですが、今回、一部交付対象外となり契約金額を変更するものです。

*変更による増額 2449万円

*総工事費 5億7944万円



待ちに待ったふれあいランド岩泉の再整備。着々と進行(眺めの良い高台にはグランピング施設が建設予定)



台風被害へ早期復旧 補正予算の専決処分を承認

台風の大雨により大きく決壊した町道鼠入川線

定例会のあらまし

6年第三回定例会は、9月12日から20日までの9日間の会期で開きました。

12日と13日には、一般質問が行われ6人の議員が登壇しました(質問の内容などは12ページから15ページまで)。

台風第5号により被災した施設を、早期に復旧するため直ちに必要となった補正予算の専決処分(※1)を承認。そのほか全ての議案を全会一致で可決しました。

専決処分3件を承認 災害復旧と参院補選

一般会計補正予算第3号と観光事業特別会計補正予算第2号は、台風災害の復旧費を計上。生活橋や町道、農道・牧道、町有林の作業道、龍泉洞内の照明設備の復旧工事など、補正額はそれぞれ1億4815万円、513万円になりました。

一般会計補正予算第4号は、参議院岩手県選出議員の辞職に伴う補欠選挙の経費1825万円を増額補正。報告のあった専決処分3件全てを承認しました。

おしえてぴーちゃん

(※1) 専決処分とは
時間的に議会の招集を待てない緊急な場合に、町長が議会の議決に代わり意思決定すること。議会への報告と、議会の承認が必要です。

粗飼料の購入に支援 高温で収穫量が激減

近年の高温などの影響で牧草の収穫量が激減する草地が多数発生。各畜産経営体では、牧草ロールの購入先確保や運送料など新たな費用負担が必要となっています。粗飼料(※

緊急確保対策の内容

2)の購入に緊急支援を行い、経営の維持・安定を図る狙いです。

◆対象者
町内に住所を有する畜産経営体

◆事業の内容
①(社)農業振興公社が取りまとめ一括購入。必要資金を同社へ貸し付け

②飼料販売事業者から購入した場合、1ロール当たり2千円を補助。上限30万円

③種子購入費の2分の1を補助。6万円上限。草地更新など町補助対象は除く。

◆事業費 2530万円

【関連ページ】

(※2) 家畜に与える飼料(えさ)の中で、生草、サイレージ、乾草、わら類などのこと

請願

1件を採択

総務常任委員会(畠山昌典委員長)に付託されていた1件の請願を採択と決定。国の関係機関に意見書を提出しました。



高齢者などには少しハードルが高いマイナ保険証

◆請願の名称
現行の健康保険証を残すことを求める請願

- *請願人 岩手県社会保障推進協議会 会長 佐藤嘉夫
- *紹介議員 林崎寛次郎議員
- *付託先 総務常任委員会
- *請願の要旨 国は、現行の健康保険証を2024年12月2日に廃止し「マイナ保険証」にするなど決定。医療を受ける権利を確実に保障するため、現行の健康保険証を残すことを求める。
- *意見書の結果 採択

現行保険証存続を 国へ意見書を提出

*意見書の要旨
障がいのある人や寝たきりの人など社会的弱者にとって、マイナンバーカードの取得や更新、病院の受診などは非常に困難。対応しきれない医療機関もあり、不利益が生じている。現状を踏まえ慎重に対応すべきと考える。国に対し現行の健康保険証の存続を求める。

*意見書提出先
内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、デジタル大臣、衆議院議長、参議院議長

次は、決算のあらまし

5年度決算

子どもを中心に 教育環境を充実

令和5年度の決算審査では、一般会計・6特別会計と水道事業会計の総額142億円の決算を慎重に審議。全て全会一致で原案のとおり認定しました。【関連8〜9ページ】

一般会計109億円の 歳出決算を認定

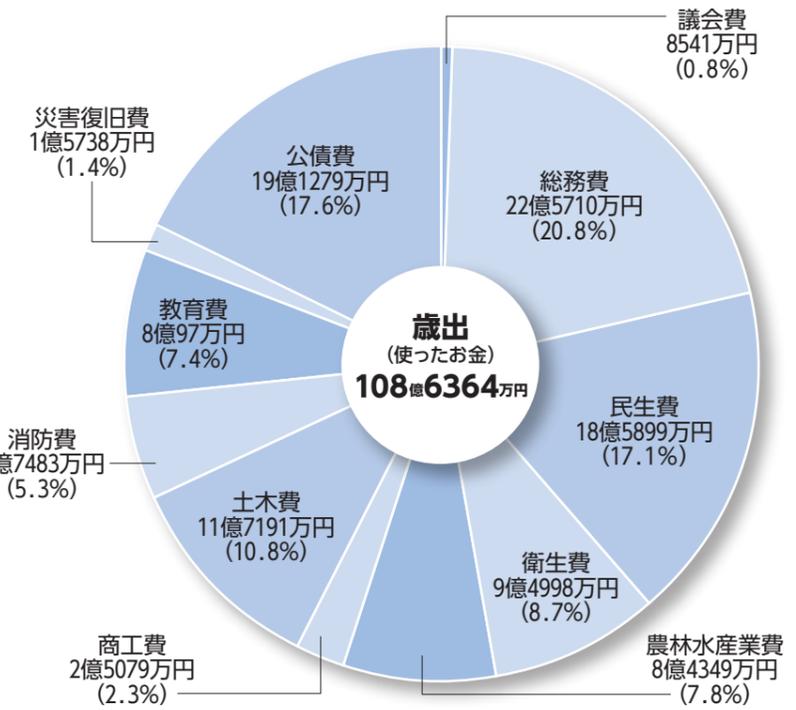
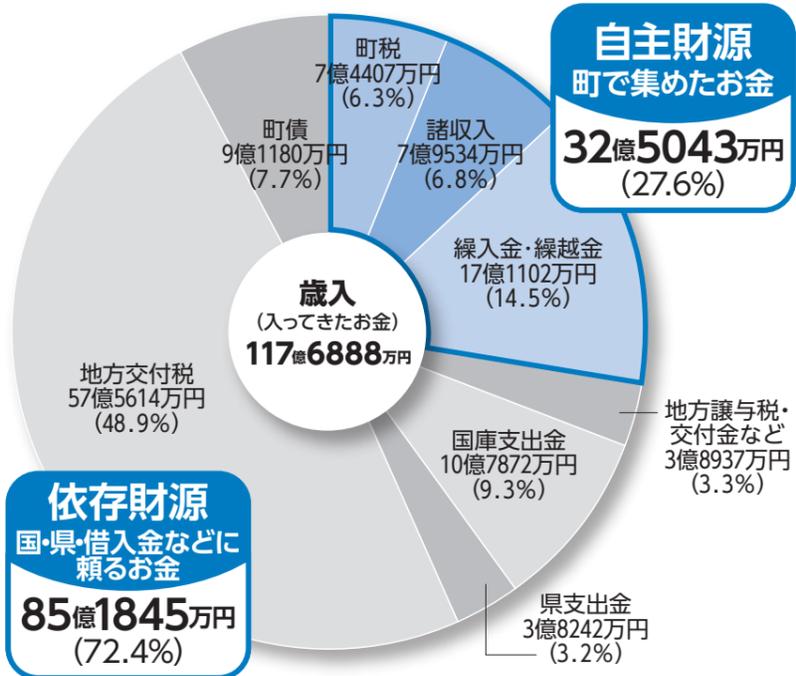
前年度比
8.7%増

5年度一般会計の歳出決算額は108億6364万円で、前年度比8億6718万円（8.7%）の増となりました。
増加した主な要因は、総務費が3億5609万円（18.7%）増加したためです。
子どもを中心に、保育料の完全無償化や出産祝い金を増額。新たに在宅子育て支援金やスポーツ少年団活動の移動に対する応援金を創設しました。
レクリエーション広場の開所、歴史民俗資料館を移転・リニューアルオープンするなど教育環境の充実が図られました。
ここでは、決算の状況と主な事業をお知らせします。



5年度決算の詳細は町のHPから

一般会計決算の内訳



依存財源
国・県・借入金などに頼るお金
85億1845万円 (72.4%)

堅実な財産運営を評価



～決算審査意見～
9月12日の本会議で報告された決算審査意見の内容を要約してお伝えします。

箱石憲市
代表監査委員

一般会計・特別会計

厳しい財政環境の中、実質公債費比率(※)は減少し、町債(借金)現在高も減少。主要基金(貯金)の保有額は、台風災害を受ける前の平成27年度の水準を超え、堅実な財政運営は評価する。

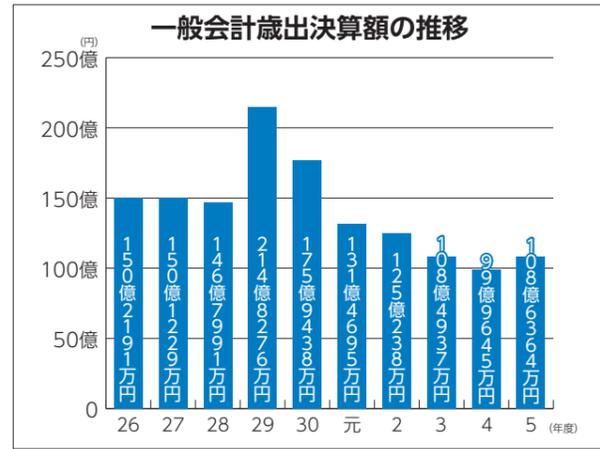
今後は、少子高齢化、生産人口の減少などによる税収減や地方交付税の減少が懸念され、厳しい財政状況が続くものと予測。将来にわたり安定した行政サービスを提供するために基礎的財政収支の黒字化を堅持し、持続可能な行財政運営に努められたい。

水道事業会計

人口減少による料金収入の減少、施設の老朽化の修繕や更新、燃料費の高騰など今後の経営環境はより厳しさを増すと考えられる。改定した経営戦略などの計画を着実に実行し、長期的な経営の安定を図られたい。

ぴんすちゃん 財政用語

- 【地方交付税】町の財政力に応じて国から交付されるお金
- 【国庫・県支出金】町が行う事業に対して国・県から補助されるお金
- 【町債】事業の財源に充てるため国などから借りたお金
- 【地方譲与税】国税である自動車重量税などが一定の割合で町に交付されるお金
- 【繰入金】積立金から取り崩したお金
- 【諸収入】延滞金、預金利子などのお金
- 【総務費】一般的なる事務経費や財産管理などの経費
- 【民生費】高齢者や児童など社会福祉のための経費
- 【衛生費】集団検診やごみ処理などの経費
- 【農林水産業費】農林水産業の振興や農道・林道の整備、漁港整備などの経費
- 【商工費】商工業の振興や観光開発の経費
- 【土木費】町道や河川整備などの経費
- 【教育費】学校教育や社会教育などの経費
- 【公債費】事業を行うときに借りたお金の返済



会計名	歳入	歳出
一般会計	117億6888万円	108億6364万円
国民健康事業	11億6070万円	11億2845万円
保険診療施設	3780万円	3375万円
後期高齢者医療	1億2211万円	1億2190万円
介護保険事業	15億7956万円	14億6811万円
サービス事業	1170万円	1121万円
観光事業	2億309万円	1億9239万円
公共下水道事業	3億6739万円	2億1383万円
大川財産区	406万円	397万円
水道事業	4億3188万円	4億837万円
企業会計	2億5665万円	5億151万円
合計	159億4382万円	149億4713万円

(※) 一般財源に対する公債費(借金)の比率。18%を超えると借入れに国の許可が必要

決算審査



ナラ枯れ被害の被害地域と隣接地域 (R6.3月末現在)



被害地域(被害木から2キロ以内) 隣接地域(被害木から30キロ以内) 隣接地域にほぼすっぽり入っている本町

森林 ナラ枯れ拡大対策は 補助をつかい更新伐

問 ナラ枯れの町内拡大の状況は。

答 現在、最西端で龍泉洞付近まで発生。木の中に葉を注入して虫を殺す(樹幹注入)方法に今シフトしている。

問 ナラ枯れ対策事業補助金の内容は。

答 町広報、ぴーちゃんねっとなどで周知を進めていく。

問 更新伐、木の若返りが必要。被害の最先端地から半径30キロ

答 町内の更新伐(伐採)に対する補助金である。

問 所有者への周知は。

答 自伐林家でも補助は可能か。

問 ナラ枯れ対策事業補助金の内容は。

答 町の補助事業は可能である。

効果的な有害獣対策を



害獣から農作物を守る電気牧柵

決算審査特別委員会(三田地和彦委員長)は9月18日から20日までの3日間、一般会計と6特別会計、水道事業会計の5年度決算を審査しました。ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

農業 助成制度の見直しを 能力向上更新を検討

問 農作物被害防止対策制度の内容は。

答 果樹、畑わさびの侵入防止網は購入費の4分の3を助成。他の作物は電気牧柵など3分の2を助成する。

問 更新は対象外だが数十年が経ち古く

答 電気牧柵は耐用年数があり経年で能力低下。単純更新より能力向上による更新も考えていく必要がある。農家などの意見を聞きながら新年度で対応できるか検討していく。

水道 取水施設の台風対策は 伏流水呼び込みを検討



昨年に続き今年も被災した松橋の取水施設

問 最近改修した松橋の原水取水施設が、台風で崩壊。壊れな

答 増水で土石流が流れる場合、表流水で取水は不可能と実感。伏流水(※)を呼び込む施設を考えた。財源などを研究し対応していく。

ますの声

有孔管の埋設 断水は免れた 砂子 眞さん (尼額・83歳)

昨年新しくなった水源地。川幅が狭く流出が心配でした。非常用有孔管の埋設で、断水は免れました。非常時の水源確保と安心できる施設整備を望みます。



ますの声

生産者が高齢化 補助拡充を望む 三上 義和さん (釜津田・49歳)

シカ食害防護施設を町の支援で設置。被害が減って助かっています。生産者が高齢化し、設置作業費の補助組み入れなど対策の拡充・継続を望みます。



観光 防犯カメラ園地内設置は 重要性高く必要と考える



洞内カメラの映像を映すモニター。園地内にも設置が必要

問 旅行者見舞金2万円の内容は。

答 台湾のツアーに参加した男性1人が、洞内の手すりですり手薬指を怪我した。診察を受けその治療費を含めた見舞金である。

問 洞内と園地内に防犯カメラは設置されているのか。

答 重要性が高まっており、園地内にも必要だと考えている。

問 洞内に防犯カメラが9つ設置されて

答 重要性が高まっており、園地内にも必要だと考えている。

一般会計 総括質疑

総括質疑とは、審査する案件全般に對して行うもの。一般会計決算の総括質疑を要約してお伝えします。



千葉泰彦 委員

問 人口減少が進み、全てが役場で対応すべきといった潮流にある。役場、議会とも考

問 職員の働き方改革を進めるために、町長自らがどうやって休暇を確保するか考えるべきでは。

答 人口が減れば、町長 人口が減れば、例えば水道も、現在2千円の基本料金を5千円、1万円にせざるを得ない。従来どおり要望を聞くこともできなくなり、政策の選択と集中が迫られる。お互いに覚悟と決意が必要である。役場に言えばいいではなく、役場、議会、町民が「自らの責任」でやるべきことをやっていかなければならない。

問 政策目標の達成状況をどう考えているか。



三田地泰正 委員

町長 2期目の公約は7、8割達成している。子育て、高齢者に関する無償化を進めてきた。今後、気象変動に對して1次産業をどうしていくかが大きな問題。公約とそれ以外にも対応していく。

町長 人口が減れば、例えば水道も、現在2千円の基本料金を5千円、1万円にせざるを得ない。従来どおり要望を聞くこともできなくなり、政策の選択と集中が迫られる。お互いに覚悟と決意が必要である。役場に言えばいいではなく、役場、議会、町民が「自らの責任」でやるべきことをやっていかなければならない。

(※) 水がしみ込みやすい土地を川が流れると、水が地中にもぐりこんで流れる。この水のこと

147年の歴史に幕 釜津田小を閉校



6年間通い続けた学校なのでさみしい。

次の学校でも楽しくがんばりたい。

佐々木鈴ちゃん（6年生） 怜ちゃん（2年生） 優ちゃん（4年生）

条例補正予算審査特別委員会（三田地泰正委員長）は9月17日、付託された条例8件、補正予算5件を審査。全ての議案を可決すべきものと決定。同日の本会議において全会一致で可決しました。
生徒数の減少に伴い、147年の歴史に幕を閉じることとなった釜津田小。統合への同意や閉校後の施設使用の質疑がありました。
ここでは、特別委員会の審査の中からいくつかの内容を要約してお伝えします。

育 閉校後に使えるか 教 使用許可で可能に

問 釜津田小の統合への同意で、特に問題はなかったか。

答 同意率は87%。令和以降の学校統合で一番高い同意率で、特段の問題はない。

問 統合後に問題が生じた場合、教育委員会との交渉にも限度があると考えられる。問題点はないか。

答 スクールバスの運行が、今議題に上がっている。課題が残らないよう順次協議している。

問 施設開放で校舎を使用可能か。

答 校舎も体育館同様、地区行事などで使う場合は、使用許可で可能になる。



寂しくも本年度で閉校となる釜津田小学校

畜産 粗飼料確保の対策は ロール2千円を支援



畜産経営は自給粗飼料が不作になると死活問題です

問 牧草は一番草から三番草まである。2千円の補助は同じか。

答 メインは北海道産のロールになる。輸送費などの経費が発生することから、差額4千円の半額を補助したいと考えて制度設計。一番草から三番草まで、1ロール2千円で統一した。

問 粗飼料の購入方法は。

答 対象者は、町内に住所を有する畜産経営体。酪農、黒毛・短角の肉牛、養豚農家が含まれる。農家数は33経営体を予定。

答 農家が独自に飼料業者から購入するパターンと、農業振興公社が農家の希望を取りまとめ取引し農家に届けるパターンとなる。

問 酪農経営体の関係はどうなるか。

答 対象者は、町内に住所を有する畜産経営体。酪農、黒毛・短角の肉牛、養豚農家が含まれる。農家数は33経営体を予定。

子育て 児童手当の補正増理由は 制度改正で支給対象拡充

問 児童手当が225万2千円の増額補正。総額9158万円となっているが理由は。

答 本年10月から児童手当制度が改正される。支給対象を中学生までから高校生年代（※）まで延長。所得制限も撤廃される。

問 所得制限の撤廃により対象となる人数は。

答 直近の数字では世帯数が8世帯、児童数19人が限度額超過に該当。

（※）18歳に達する以後最初の3月31日まで

	現状	令和6年10月分以降
0~2歳	1万5千円	1万5千円
3歳~小学生	1万円	1万円
中学生	1万円	1万円
高校生	なし	1万円
	所得制限あり	所得制限なし

ますの声



支援の充実で 工藤 久子さん
選択肢増えて (小川・46歳)

幼児~高校と年が上がる程かかるお金も上がるので、本当にありがたいです。子どもたちへの支援が充実され、将来一つでも選択肢が増えればと思います。

ますの声



収量減少に支援 山屋 祐太さん
ありがたいです (岩泉・31歳)

今年はロール収量が減少し、価格が上がって厳しいとき支援はありがたい。天候不順でも粗飼料を購入せず自前で確保できる経営基盤の整備をしたいです。

D X 各種証明コンビニ交付は 町内2店、全国で利用可

問 各種証明書（※2）のコンビニ交付が令和7年1月1日から開始。町内と町外で利用可能な場所は。

答 町内では2店舗。全国のマルチコピー機を設置しているコンビニエンスストアで利用可能である。

問 マイナンバーカードを利用する際の交付は。

答 そのとおり。そのほかに、スマートフォンに専用のアプリ（マイナンバーポータル）を設定すると、カードがなくても交付が可能になる。

おしえてぴーちゃん



（※2）コンビニで取得できる証明書は？

- *住民票の写し
- *住民票記載事項証明書
- *印鑑登録証明書
- *所得課税扶養証明書
- *戸籍関係証明書（現在の戸籍のみ。除籍や原戸籍は不可）
- *戸籍の附票の写し

ますの声



統合の課題 中田 学さん
路線の整備 (釜津田・54歳)

統合の喫緊の課題、安心安全な登下校路線の整備を早急をお願いしたい。スクールバスに限らず重要な路線なので、可能な限りの整備を期待します。



町の考えを問う

6人の議員が登場

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明を求めることです。9月定例会では、6人の議員が登場し、町政課題への提言や質問を行いました。

坂本 昇 議員 (13ページ) ● 災害復旧は改良復旧を

* その他の質問
子どもたちの目線を生かしたまちづくり

畠山 昌典 議員 (13ページ) ● 緊急時の生活用水確保を

* その他の質問
小中学校の特別教室へのエアコン設置を

三田地久志 議員 (14ページ) ● 給食への地産地消は

* その他の質問
龍泉洞内の電気設備の増水被害対策を

林崎寛次郎 議員 (14ページ) ● ハラスメント相談窓口を

* その他の質問
消防演習の放水訓練：場所の移転と全ポンプ車による放水訓練の実施を

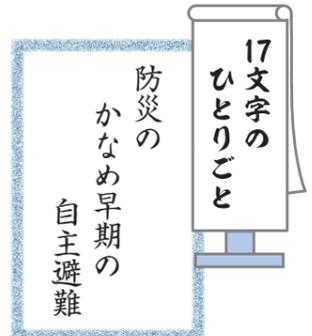
畠山 和英 議員 (15ページ) ● 貴重な水取戻す活動を

* その他の質問
グリーン社会実現に向けた取り組み：脱炭素の具体的な施策の見直し
町再生可能エネルギー推進計画の推進

千葉 泰彦 議員 (15ページ) ● 人口減少での課題対応は



坂本 昇 議員
一般質問・答弁
全文はこちらから



問 災害復旧は改良復旧を

問 台風による水源施設の被災や道路決壊は同じ箇所が発生。復旧のみでなく改良復旧が必要と考えるがどうか。

町長 原形復旧を原則とする災害復旧事業では、今後も同様のケースが懸念される。技術的な部分も含め、財源の確保と併せて、関係機関などと検討を進めていきたい。

同様の災害を繰り返しさないため、新たな災害復旧制度の創設など国に要望していく。

問 孤立する恐れのある



復旧のみでない改善対策が必要(町道沢廻線)

町長 今回の台風第5号でも、避難所開設や避難指示など過去の経験を集落に、早期避難の協力を求めるべきでないか。

験を教訓に早め早めの対策・対応を取った。今後も消防団や自主防災協議会、防災士などを中心に地域コミュニティの強化を図る。早期避難の呼び掛けを徹底し、住民個々の避難意識の高揚を図っていく。

問 緊急時の生活用水確保を

答 井戸など現状確認し研究



緊急時、地域にある井戸の活用を

問 今夏の台風で、一部地域で断水し住民生活に支障をきたした。給水車だけでは賄えない生活用水確保のため、井戸の場所の確認や水質検査など事前調査をし、緊急時に備えるべきはないか。

町長 台風第5号では

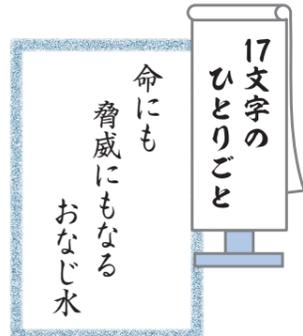
早期の断水解消を目指し、復旧作業を進め、給水車による給水活動を行った。井戸水の活用は、災害時に町民生活の維持に有用なツールの一つになると思われる。現状確認や利活用などを研究していく。

問 小中学校の全普通教室にエアコンが設置されている。特別教室への設置の考えは。

教育長 設置の必要性は認識。各学校での特別教室の利用状況を把握・検討し、良好な学習環境の整備に努める。



畠山 昌典 議員
一般質問・答弁
全文はこちらから



一般質問全文は、町ホームページで公開しています。スマートフォンはこちらから。



和英 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 小本川・大川の水は岩洞湖に導いている。今年の春、県企業局大川堰堤から長期間にわたり水が全く流れていなかった。数年後には水利権の更新時期もくる。その前に、地域住民らで構成する組織を設立し、放流量の監視や水利権更新に向けた



地域の宝を守り有効活用を

問 貴重な水取戻す活動を

答 住民らと意見交換する

調査・協議など貴重な水を取り戻し、河川環境の改善を図るべきと考えるが町長の所見は。

町長 今年の春には、大川取水堰堤魚道から水が放流されていないという事例が発生した。県企業局を確認したところ「魚道の機器に不具合があった」と



目で見て触れる。子どもたちに食育の大切さを

問 令和4年3月に地消地産条例が制定され2年半が過ぎた。無償化が実施され、小学校の給食費の

問 給食への地消地産は

答 取り組みを進めている

町長 令和4年3月に地消地産条例が制定され2年半が過ぎた。無償化が実施され、小学校の給食費の



三田地久志 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



いるか。

食育を
地消地産で
進めよう

17文字の
ひとりごと

「ふるさと給食会」には、生産者を招き児童生徒と交流しながら、地域で生産される食材について学習している。

町長 学校給食で提供する野菜の作付種類や生産量の調査に関し、発注先の生産組合が生産品目や生産量を調査。報告を受け把握している。さらには、栄養教諭による生産現場での確認も一部行っている。

問 ハラスメント相談窓口を

答 労働基準監督署内に設置



林崎竟次郎 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 町内企業で働く人からハラスメントを受けたという相談があった。被害者がハラスメント相談できる窓口を町につくる必要があると考えるがどうか。

町長 民間企業のハラスメント相談は、労働基準監督署内に設置し

放水訓練ができなくなる。対岸の岩泉橋から上流部で行えないか。

町長 対岸は、現段階ではポンプ車の進入が困難で吸水できず、安全上の問題などから断念せざるを得ない。条件の合う場所が見つからない状況で更なる検討が必要である。



ハラスメント相談は労働基準監督署へ



千葉 泰彦 議員

一般質問・答弁
全文はこちらから



問 人口減少での課題対応は

答 官民連携で調整役を担う

問 介護保険事業者の担い手不足が報告された。担い手不足は岩泉町役場も同様ではないか。採用など状況は。

町長 採用決定後の辞退が多く、昨年は追加

問 家族や地域で賄えない事柄が行政の課題

町長 人口減少で町民力が弱まる中、住民、事業者、団体と連携を深め、その調整を担い、また行政サービスの安定提供をする。

問 今後の岩泉町役場の役割は。



専門職の人員不足も課題です

17文字の
ひとりごと
乗り切るぞ
担い手不足
ワンチームで

17文字の
ひとりごと
尊厳と
心身冒す
モラハラ

17文字の
ひとりごと
町あげて
貴重な財産
戻したい

次は、どなりゃんしたあの提言

常任委員会 令和6年度重点課題

- 01 教育
- 02 市民の意欲向上
- 03 雇用の創出
- 04 市民の所得向上
- 05 身近な議会



議会で取り組む5つの重点課題
議会だよりNo.206
(4・5頁)



「こんなまちにしたい」思いを込めて発表する児童

総務

岩泉小の児童がまちづくりを提案

01 教育

7月18日、岩泉小（吉田浩規校長、児童167人）の6年生29人が「子ども議会」で岩泉町の未来を考える」と題し、社会科の学習でグループごとに考えた岩泉町のまちづくりを提案。発表後には各グループに総務常任委員が加わり、意見交換を行いました。

児童からは「観光客は一部にしか行かず商店街へも来てほしい」「遊べる場所が少なく学校の遊具も減っている」などさまざまな意見が出されました。「坂道が多く歩道がでこぼこしている」「バス停

児童提案のまちづくり

- *安全で子育てしやすい町
- *お祭りでにぎわいをつくる町
- *カラフルな町
- *いろんな世代が遊べる町
- *気軽に立ち寄れる場所のある町
- *住みやすい町

【所感】

グループディスカッションに参加。テーマは「商店街を綺麗でカラフルな街にしたい」でした。シャッターに絵を描いて楽しい商店街に。所有者との交渉、テーマ、色調の選定、費用と時間など検討が必要ですが、子どもたちが実現するまで総務常任委員会として伴走します。

千葉 泰彦

まずの声

緊張したけど成功 佐々木陽生くん（岩泉小6年）
議員さんへの発表は緊張したけど、成功できて良かったです。岩泉町の好きところは自然が多くて人が優しいところ。住みやすい町にして人口が増えてほしいです。



グループごとに活発な意見交換が行われました



質疑のその後 どうなったか... あの提言

議員が行う質問や提言が、町政にどう反映されているのか。これまでの質問などから一部を取り上げ、その後どうなったか追跡します。



産業動物の獣医師不足は全体的課題

獣医師 早急に獣医師確保を 往診可能な開業医周知

令和3年第2回定例会
問 県農業共済組合の管内診療が休診となり、獣医師不足が深刻な状況にある。畜産酪農業の振興のために町民が獣医師を抱える考えはないか。

答 獣医師不足は、町の最重要課題の一つと認識。県農業共済組合、岩手県、新岩手農業協同組合に、獣医師の診療体制の確保など要望。引き続き要望活動を行い、早期再開に向け取り組む。

令和6年第2回定例会
問 管内に獣医師が定着しておらず、緊急時に死亡事故が多発すれば死活問題。早急に獣医師確保に向け取り組みを。

答 町内外の開業獣医師の往診で、最小限の家畜診療体制を確保。獣医師不足は全体的課題で、早期に公的家畜診療所体制の再開は困難。宮古市で再開準備を進める獣医師に本町の往診をお願いし前向きな回答をいただいた。今後も情報交換など進め持続的診療に結び付くよう取り組む。

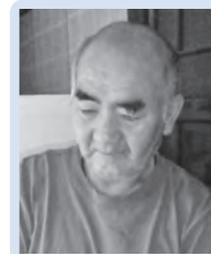
令和6年9月



家畜の健康増進で消費者に安全な製品を提供

まずの声

小野寺一平さん 町では一層の獣医師対策を（安家・66歳）
現在和牛30頭を飼育。牛の診察は、町外の獣医師に車代を支払い診てもらいます。車代の負担も大きいので、町には一層の獣医師対策を望みます。



産業

要望箇所の現況調査

05 身近な議会

産業常任委員会（三田地久志委員長）は7月17日、議員と語る会で要望をいただいたナラ枯れ支障木・町道・観光地の現況調査を行いました。

大牛内地区のナラ枯れ支障木

【要望】 ナラ枯れにより倒木する恐れがある支障木がある。早く対処してほしい。



倒木の恐れがあるナラ枯れ支障木（小本大牛内地区）

町道への倒木の危険性を確認。担当課である農林水産課に現状と対策を講ずるよう申し入れました。

【要望】 道路上への落石があり危険。道路管理をきちんとしてほしい。

町道大沢口鼠入線

現状を確認。定期的な見回りと適正な管理が必要。

御殿崎自然休養林の周辺・熊の鼻展望台周辺

【要望】 潮風トレイルで来る人から鶉の巣、岩泉間の整備が悪いと度々聞く。整備が必要では。

当該トレイルルートは難所と認識。ルート内にある町管理施設の老朽化があることから、改善が必要。

台風5号の被害を確認

05 身近な議会

産業

産業常任委員会は8月28日、台風第5号により被害のあった町道や県道、龍泉洞の現況調査を行いました。

主な被害現場の現地調査を行いました。おおむね迅速な仮復旧が施されていることを確認。

原型復旧が復旧工事の原則であると理解しつつ、度重なる災害を目の当たりにする度、改良復旧の必要性を訴えています。



目を疑うほどひどく破損している道路（町道イマシコト線）

町道鼠入川線（大平バス停付近）

被害場所の対岸にある岩山による被害拡大。改良が必要。

町道イマシコト線（浅内大沢）

排水がもろく改良復旧が望ましい。

町道松野松橋線、二升石水道施設

災害復旧が完成したばかりでの被災。改良・移転復旧が必要。

町道沢廻線

県の河川改修工事途中で被害拡大。県による復旧工事を注視。

県道普代小屋瀬線・安家玉川線（川口〜茂井、松林〜大平）

度重なる被災。改良工事が必要。

龍泉洞及び園地内

2年続けての被災。配電盤の移設など、根本的対策が必要。

周知から行動へ 「読まれる」の次は「行動変容」

広報

9月25日、ニッショーホール（東京都）にて令和6年度町議会広報研修会が開催され、坂本昇委員と畠山昌典委員が参加しました。講師からは「ゴールは読んだ人が自発的に行動すること」など講義がありました。

読まれる広報（周知）から、読んだ人を動かす広報（行動）を目指していきます。研修では、3人の講師が「読まれる議会広報紙の作り方」「やってはいけないデザイン」「読まれない議会だよりに出す意味なし」というテーマで講義。読む人の心の変化を設計し、読む人側の視点で作ることの重要性を学びました。



読まれない議会だよりに出す意味なし！ 全国1位の常連、寄居町議会広報の編集方針

まの声



町の声が届く議会だよりを 小成 智美さん（小本・35歳） 議会だよりは毎回読みます。スポーツ関係や女性の社会活動の記事が目が行き、「まちの声」も楽しみ。町の皆さんの声が届く議会だよりを待っています。

【所感】 久々の全国研修。さまざまな刺激を受け、ためになる内容でした。中でも、全国コンクールで常に上位に入る寄居町の編集方針「読まれない議会だよりに出す意味なし」は感銘を受け、我が議会だよりもさらに町の皆さまに手に取って読んでもらえるよう研さんを積む決意を強くしました。 畠山 昌典 広報広聴常任委員

広報

行政視察を受け入れ 青森県外ヶ浜町・山田町

9月30日、青森県外ヶ浜町議会広報特別委員会の皆さんが「議会だより」の行政視察に来られました。 外ヶ浜町は青森県北部、津軽半島の北東部に位置する人口5030人（本年9月末現在）の町です。



外ヶ浜町議会広報特別委員の皆さん

町民から読んでいただくための工夫や「編集方針」を作成することの重要性など、活発な意見交換が行われました。

10月10日には、山田町議会改革検討特別委員の皆さんが「タブレット導入」の視察に来られました。 本議会では、令和3年の9月定例会からタブレットを導入。導入までの経緯やメリットなどを説明しました。



岩泉町議会では他自治体からの行政視察を受け入れています。視察にお越しいただく皆さまには、町内への宿泊、龍泉洞の観覧またはお食事や買い物をお願いしています。 *本年度の視察受け入れ 5団体（R6.9月末現在）

ジオラマ防災教室 泉高校生が小学生へ

01
教育

岩泉高校（岩淵雅明校長、生徒116人）は8月28日、岩泉小の6年生を対象に「ジオラママップ」を使った防災教室を開きました。2年生35人が講師となり、町内の危険な場所や安全な場所を学び、防災・減災に役立てるために実施。自分

たちの町へ理解を深め「自分の命は自分で守る」ことができるように小学生の段階から防災意識を高めることを目的としています。総務常任委員も参観。高校生の積極的な地域課題への取り組みに感銘を受けました。



山や川の位置から土砂災害や川の氾濫場所を考えました



議員は何してんのや

議員や議会は何をしているの？という声を聞きます。ここでは、議会や議員の主な活動状況をお知らせします。（全日程はQRコードで）



議会の動き

7月

- 5日 岩手県に対する市町村要望（宮古市）
- 10日 東部町村議会議長会先進地視察（福井県：12日まで）
- 18日 岩手県町村議会議長会政務調査会・研修会（九戸村）
- 20日 町内県道整備促進住民総決起大会

8月

- 1日 戦没者追悼式（町内）
- 7日 第4回臨時会（議会議事堂）
- 8日 町村議会夏季議員大学講座（盛岡市：9日まで）
- 22日 三県合同中央研修会（東京都）

9月

- 5日 知事を囲む懇談会（盛岡市）
- 9日 議会運営委員会（役場）
- 12日 第3回定例会一般質問（議会議事堂）
- 13日 一般質問（議会議事堂）
- 17日 条例補正予算審査特別委員会（役場）
- 18日 決算審査特別委員会（役場：20日まで）

ますの声

災害の危険性を
知ってもらえた

おうえん 瑠玖さん
（実行委員長）

台風10号では暴風や停電などで恐怖を感じた。今回の教室では、小学生に災害の危険性を知ってもらえた。このような機会が増えれば、防災意識も高まると感じた。



議会を傍聴しませんか

次の定例会は、

- 12月5日(木) 本会議・一般質問
- 6日(金) 一般質問
- 10日(火) 条例補正予算審査 本会議

の予定です。

※都合により変更となる場合があります。



編集後記

▽今年の夏も大変な猛暑となりました。9月定例会は、条例補正予算と5年度の決算を慎重に審査。両特別委員会ともに活発な議論が交わされました▽8月12日に岩手県に上陸した台風第5号。大雨で甚大な被害をもたらしました。生活橋、農道、龍泉洞照明設備など仮復旧工事の専決処分案を承認。本復旧に向け、行政と両輪となり「災害に強いまちづくり」を進めていく新たな決意です▽これからも皆さんに親しまれる議会だよりの作成に励んでまいります。取材依頼の際はよろしくお願ひします。

広報広聴常任副委員長
佐藤安美

広報広聴常任委員会

委員長	千葉 泰彦
副委員長	佐藤 安美
委員	八重樫 龍介
	坂本 昇
	昌典
	和英
	昌典

